

## エマージング・ディレクターズ・アートフェア「ULTRA004」

オクトーバー・サイド 2011年10月28日(金)～30日(日)

ノヴェンバー・サイド 2011年11月1日(火)～3日(木・祝)

会場:スパイラルガーデン(スパイラル 1F)

62名の若手ディレクターがセレクトした作品が集結する、アートフェアを開催

「ULTRA003」会場風景(2010) 会場:スパイラルガーデン  
Photo: Katsuhiro IchikawaEMERGING  
DIRECTORS'  
ART FAIR  
ULTRA004  
28-30.Oct./  
1-3.Nov.  
2011  
SPIRAL  
GARDEN

スパイラルは、2011年10月28日(金)～30日(日)と、2011年11月1日(火)～3日(木・祝)まで、ディレクター個人を出展単位とするアートフェアの第4回目、エマージング・ディレクターズ・アートフェア「ULTRA004」を開催します。

今や世界中で開催されるアートフェア。「ULTRA」は、40歳以下のギャラリスト個人を出展単位とする新しい形のアートフェアです。ギャラリーで日々実際に作家と対話し、作品の選定を行うディレクターにスポットをあて、彼らの新鮮な視点で選ばれた、まさに「いま」を切り取った現代アート作品が、多数集まります。作品を購入できるアートフェアですが、入場料はなく、展覧会と同様スパイラルガーデンのオープンスペースで、気軽に作品に触れることができ、また気になる作品についてディレクターに直接質問することも可能です。作品の購入をお考えの方だけでなく、どなたでも自由に楽しんでいただける空間です。

25名が参加した第1回目から、第4回目を迎えた今回は、62名のギャラリストが集結。今年も昨年同様、会期を10月28日(金)～30日(日)の3日間のオクトーバー・サイドと、11月1日(火)～3日(木・祝)のノヴェンバー・サイドの3日間の、2会期に分けて多数の個性豊かなブースを展開します。

会期中には、トークイベントの開催やまた来場者の方々から集計した「ベスト・ウォール賞」「ベスト・セールス賞」を発表します。

この機会に是非、ご取材をご検討いただけましたら幸いです。

掲載や取材に関するお問い合わせは、下記までご連絡ください。

◆スパイラル/株式会社ワコールアートセンター 広報部 清水さえみ、加藤美穂、四元朝子(よつもとともこ)

TEL 03-3498-5605 FAX 03-3498-7848 〒107-0062 東京都港区南青山 5-6-23

E-mail [press@spiral.co.jp](mailto:press@spiral.co.jp) WEB <http://www.spiral.co.jp/>

## 開催概要

## タイトル:エマージング・ディレクターズ・アートフェア「ULTRA004」

会期:オクトーバー・サイド 10月28日(金)~30日(日)  
 ノヴェンバー・サイド 11月1日(火)~3日(木・祝)

オープニングパーティ:10月28日(金)20:30-22:00

クロージングパーティ:11月3日(木・祝)20:30-22:00

※クロージングパーティでは、「ベストウォール賞」「ベストセールス賞」の発表を致します。

※31日は、展示入替のためクローズ致します。

会場:スパイラルガーデン(スパイラル 1F)

時間:11:00~20:00

入場料:入場無料

主催:ウルトラ実行委員会(現場商會+株式会社ワコールアートセンター)

企画制作:スパイラル、現場商會

## 出展者 62名 (50音順)

## オクトーバー・サイド(31名)

桑原暢子	neutron	京都/東京	大谷和香子	Galerie Sho Contemporary Art	東京
宮崎雅子	Gallery TOSEI	東京	塩野秀樹	Gallery Seek	東京
山中俊広	YOD Gallery	大阪	八木宏基	HARMAS GALLERY	東京
幕内政治	ex-chamber museum	東京	鈴木一成	TOKIO OUT of PLACE	東京
川松 涼	Gallery Kawamatsu	東京	岡村万里絵	和田画廊	東京
立松 武	STANDING PINE - cube	名古屋	川田泰	Kawata Gallery	神戸
伊藤悠	island JAPAN	東京	浜崎共子	Gallery Introart	名古屋
芦川朋子	waitingroom	東京	三浦愛正	AISHO MIURA ARTS	東京
鄭恂恂	Aki Gallery	台北	西枝英幸	COHJU contemporary art	京都
武方英恵	Gallery Tagboat	東京	川上大雅	salon cojica	札幌
澤田かおり	fabre8710	東京	本木翔子	Gallery Jin Projects	東京
柳田美奈子	MEGUMI OGITA GALLERY	東京	石井 信	四季彩舎	東京
橋本達士	Gallery 花影抄	東京	松島英理香	CASHI	東京
魚崎恵梨	unseal contemporary	東京	井浦歳和	Roid works gallery	東京
小宮山真美	新生堂	東京	石水美冬	SNOW Contemporary	東京/シンガポール
			沼尾久見子	GALLERY KUU	東京

## ノヴェンバー・サイド(31名)

島田恒平	ギャラリー椿	東京	坂井俊之	工房親	東京
石坂徹朗	Kiriku	東京	武市紀子	MORI YU GALLERY	京都/東京
佃 舞永	Galerie Tokyo Humanité	東京	棟廣敏男	DMO ARTS	大阪
小暮ともこ	LOWERAKIHABARA.	東京	河田麻美	FUKAGAWA BANSHO GALLERY	東京
癸生川 栄	eitoeiko	東京	杉田竜平	GALLERY MoMo	東京
石川麻貴	The Artcomplex Center of Tokyo	東京	夫馬 笑奈	FUMA Contemporary Tokyo   Bunkyo Art	東京
結城加代子	KAYOKOYUKI	東京	鹿又慧祐	TARO NASU	東京
伊藤 愛	万画廊	名古屋	戸塚憲太郎	hggrp GALLERY Tokyo	東京
福田晋也	Galley Fukuda	大阪	原田裕介	相模屋美術店	東京
熱海ゆかり	Gallery Terra Tokyo	東京	岡田真太郎	伏見地下街アジト	名古屋
豊田 純	ギャラリー水無月	岐阜	松本佳代	Gallery Jin Projects	東京
宮下和秀	TEZUKAYAMA GALLERY	大阪	高野明子	マリア書房	京都
たなかちえこ	新宿眼科画廊   ゼラチンコンテンポラリー	東京	サトウ藤子	CASHI	東京
太田素子	mograg garage	東京	森谷鶴児	ART GALLERY KAKUJI contemporary	東京
根本佳奈	新生堂	東京	横井誠二	GALLERY SHOREWOOD	東京
			大久保欽哉	八犬堂	東京

**ULTRA を始めるにあたって**

今や美術品販売の場として定番化し、活況を呈するアートフェア。最も歴史のあるアート・ケルン、頂点であるアート・バーゼルから、アジアにて急激に成長を遂げた ART HK、一昨年始まったばかりながら活況を呈しているヤングアート台北に至るまで、今やその数は全世界で 400 を超えるといわれ、世界中のギャラリストがビジネスチャンスをつかもうと、その出展にしのぎを削っています。

国内においてもアートフェア東京は言うまでもなく、アート大阪、アートフェア京都、+PLUS に、国内の頂点である G-TOKYO、今年スタートしたアートナゴヤと、枚挙に暇がありません。

御周知の通り、アートフェアの出展単位は基本的にギャラリーです。法人単位、と言っても良いでしょう。殆どが自らの取り扱い作家をグループ展で並べ、販売する、という形式です。一方で大型のフェアの一角で若いアーティストが個展形式での展示販売をある種イベント的に展開する、という方法も数多く取られています。

そうした中、この企画である「ウルトラ」はこれまでの方法から一線を画すアートフェアです。「ウルトラ」は法人を出展単位としません。また、アーティストの個展もその旨としません。

Q.ではその単位は？

A.ディレクター。

「ウルトラ」はディレクター個人をその出展単位とする事で、美術が本来持っているであろう、「個」の力を作品から、また展示から、またマーケットから引き出すという目論見のもと企画されます。ディレクター=オーナー=ギャラリーなのだからこれまでのフェアと同じではないか？という意見もありましたが、責任の所在を個人に移行する事で生まれる、心理的な効果は、いつものアートフェアとはまた違った空気を生み出すでしょう。更に、一つのギャラリーから複数のディレクターが出展する、という事も「ウルトラ」は歓迎します。

さらに、出展ディレクターの年齢制限を設けます(出品作家には設定しません)。美術業界の活性化という観点からも若い世代がその表現の場を持つ事は大変に重要な事です。一方で、オープンから何年以内、という事では、画廊がくるくると入れ替わる、目新しいだけのフェアという、逆説的に保守的なフェアになるだけで、未来に残せるものにはなりません。

同じ画廊から、若いディレクターが先輩の助言のもと新しい世界観を生み出す、またそのディレクターが独立し、ウルトラ、またより上のグレードのフェアに参加する、そんな状況こそが、より良いマーケット構築につながるものと考えます。こうした事から年齢制限の力を利用し、常に若々しく、常に瑞々しいフェアの継続を図るものです。

昨年から「ウルトラ」は 2 会期制となっています。会場はスパイラル 1 階、スパイラルガーデン。入場は無料です。

前期である「オクトーバー・サイド」にてはオープニングパーティを開催し、後期「ノヴェンバー・サイド」最終日にクロージングパーティを行います。ここでは会期中にお客様から集計した「ベスト・ウォール賞」と、最も売上げの多かったディレクターへの「ベスト・セールス賞」を発表します。(ウルトラ 003「ベストウォール賞」は幕内政治氏、「ベストセールス賞」は結城加代子女史) 受賞者は 2012 年に予定される「ウルトラ 005」での無審査・最低コミッションの免除の権利を副賞として授与されます。

エコロジー、コスト削減の観点から、カタログの出版は致しません。当日はお客様に案内パンフレットを無償でお渡しする形をとります。

ウルトラはその語源であるラテン語の、「への彼方に、へを越えて」のように、新しいアートフェア形式の提言と形成、それによって新しい形での美術マーケットの体力増強を、その旨としています。

エマージング・ディレクターズ・アートフェア「ULTRA004」  
フェアマネージャー  
池内務